

News Release

令和3年10月29日
株式会社 長大

長大とアラムポート社

インドネシアで小水力発電所リハビリ・出力増強事業の契約締結 「水カリハビリ・ファイナンス領域」への事業拡大について

株式会社長大(東京都中央区、以下、長大)とアラムポート株式会社(東京都千代田区、以下、アラムポート)は、この度、インドネシアにおいて既設2×3.54MWのKarai-7小水力発電所のリハビリ・出力増強事業の契約締結をいたしましたのでお知らせいたします。

Karai-7小水力発電所はインドネシアスマトラ島に位置しており、2016年12月に運転を開始し現在まで安定的に稼働しております。一方で、当初導入したタービンは当発電所向けに最適化されたものではなく、品質も高くなかったため、日系企業である富士・フォイト hidro社の最新鋭のタービンシステムに入れ替えることで、発電出力最大値は8.8%向上し、年間総発電量は5.7%増加することが期待されています。

長大とアラムポートは現地インドネシアの事業者と共同でPT AMCO Hydro Indonesia(以下、AMCO)を設立し、主に小水力発電所及びバイオマス発電所の運営向けにIT技術等を活用した技術的支援を展開しております。

この度、長大とアラムポートは、AMCOを通じて、Karai-7小水力発電所が入れ替えるタービンシステム導入に際するコーディネート業務を行い、必要資金について三井住友ファイナンス&リース株式インドネシア現地法人(PT.SMFL Leasing Indonesia)より調達し、Karai-7小水力発電所に資金提供しました。アラムポートは主に資金調達における支援、全体のプロジェクトマネジメント業務を行い、長大は主にタービンシステムの適正な現地導入に向けた技術的な支援を行います。

インドネシアでは、現状再生可能エネルギーによる電力供給は約13%であり、インドネシア政府として、2025年までに再生可能エネルギー比率を23%以上に引き上げることを最新の電源計画で明らかにしております。その中で、2021年～2030年にかけて再生可能エネルギーの導入想定量として、合計約21GWとしており、その中で水力発電は約9GWと42%を占めております。そのことから、インドネシア政府における水力発電への期待は大きく、長大及びアラムポートはリハビリ・出力増強事業を通じて、インドネシアの水力発電所開発に積極的に寄与していきたく考えております。



現状



取水堰エリア

【アラムポート株式会社について】

2015年3月設立。アラムポートは、インドネシアを中心に東南アジアにおいて現地ニーズに寄り添った再生可能エネルギー事業推進のため、事業開発・投資、コンサル・アドバイザー事業を行っている。太陽光、水力、バイオマス等、現地資源に合わせた幅広い自然エネルギー発電事業に携わっている。

- ・本社: 東京都千代田区有楽町 2-10-1 東京交通会館 6階 GOODOFFICE 有楽町
- ・代表取締役: 小谷文人
- ・WEB サイト: <https://alamport.net/>

■お問い合わせ

本件に関する報道機関からのご照会は、以下へお願い申し上げます。

宗広裕司 (むねひろ・ゆうじ)
 株式会社長大 執行役員
 海外事業本部 海外営業統轄部
 統轄部長
 Eメール: munehiro-y@chodai.co.jp
 電話: 03-3532-8623

松井哲夫 (まつい・てつお)
 株式会社長大
 社会創生事業本部 新エネルギー技術部
 ゼネラル・マネージャー
 Eメール: matui-t@chodai.co.jp
 電話: 03-3532-8623